

子どもの貧困対策

県が計画策定へ

県議会代表質問

県議会第3回定例会の本会議が11日開かれ、公明党の渡辺均（藤沢市）、みんなの党の小林大介（相模原市南区）、県政会の馬場学郎（愛甲郡）の3氏が代表質問に立った。黒岩祐治知事は、1月施行の「子どもの貧困対策法」などを踏まえ、県として子どもの貧困対策を総合的に進める計画を策定する考えを示した。

同法施行を受け、政府は

8月、子どもの教育、生活、保護者の就労、経済的支援の4分野の支援策を閣議決定。都道府県の努力義務として大綱を勘案した計画を作るよう求めていた。

黒岩知事は「すべての子どもたちが夢と希望をもって成長していける社会の実現に向けて取り組む」と述べた。

（原 隆介）